

小山先生の思い出

二十七回生 城戸 三千代

私たちは四年生のときから卒業までの三年間小山先生に担任していただきました。最初に驚いたのが学期末懇談会から帰ってきた母が「あなたはクラスで〇〇番だったよー。」と言って席次の書いた成績表を見せてくれました。今考えるとあの頃に席次のある小学校やクラスは殆ど無かったのではないかな？

その頃は算盤を習っていたので学期末に点数の合計など、三人でお手伝いをして回転焼きをこ馳走になったのを覚えています。後は映画「二十四の瞳」を先生の引率で見に行つて帰りが夜遅くなり親たちが心配して右往左往した事、スケートに連れて行つてもらつたことや何かにつけてよく写真を撮つてくださった事など思い出は一杯です。卒業後数人で先生を訪問したときに記念にと写して下さった写真が写真屋さんのウインドに飾られていたのを母が見つけ写真屋さんから譲り受け来てくれました。その写真

は今でも私のアルバムに貼つてあります。考えてみると今の時代には経験させてもらえないようなことを私たちはさせてもらえたんじゃないのかな思つて感謝しています。小山先生、いつまでもお元気であいらしてください。

肖像画「小山先生」

二十七回生 高見 信雄

先生は細身でヘアスタイルは当時モダンなパーマ眼鏡をかけ一寸首を傾げはにかむ様な笑顔誰にも優しく、小さな動きも見逃さないそしてお洒落だった

今も時々教え子は集い、先生を囲む半世紀余を経過しても先生は変わらないそんな先生に私たちはみんな守られている私の描く肖像画「小山先生」はいつも笑顔これからも、いつまでも



二十七回生雪組 伊勢神宮への修学旅行(昭和三十年)



二十七回生雪組 卒業前 懐かしい校舎が背景に